

長 崎 県 観 光 統 計

平成 2 4 年 (1 月 ~ 1 2 月)



長崎県 観光振興課

平成24年 長崎県観光統計

長崎県の観光客延べ数（平成24年 1～12月）

29,397,788人（対前年4.3%増）

平成23年の28,198,126人^{（注）}と比べ、1,199,662人の増加

～ 観光客延べ数は平成16年以降最多～

世界新三大夜景に認定された長崎市の夜景や、ハウステンボスの「光の王国」など、県内の「光と灯り」をテーマにした誘客が奏功したことや、全国和牛能力共進会長崎県大会など大型イベントが開催されたこと、対馬を訪れる韓国人観光客の増加を中心に、外国人観光客が増加したことなどから、平成24年の観光客延べ数は2,940万人（+4.3%）、日帰り客数は1,917万人（+4.4%）、宿泊客延べ滞在数は1,022万人（+4.0%）となった。

[表1] 観光客数比較

（単位：人、%）

	H22	H23	H24	対前年増減	対前年
観光客延べ数	29,100,913	28,198,126	29,397,788	1,199,662	4.3
日帰り客数	19,125,493	18,365,267	19,174,752	809,485	4.4
宿泊客延べ滞在数	9,975,420	9,832,859	10,223,036	390,177	4.0
外国人宿泊客延べ滞在数	721,348	502,245	664,529	162,284	32.3
日本人宿泊客延べ滞在数	9,254,072	9,330,614	9,558,507	227,893	2.4

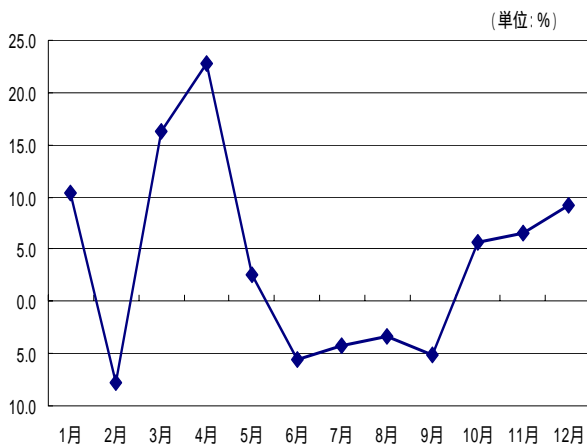
（注）佐世保市において、平成24年から観光客数の算定方法が一部変更されているため平成23年の数値は、同じ方法により推計した再算定数値を用いている。

1. 長崎県の観光動向

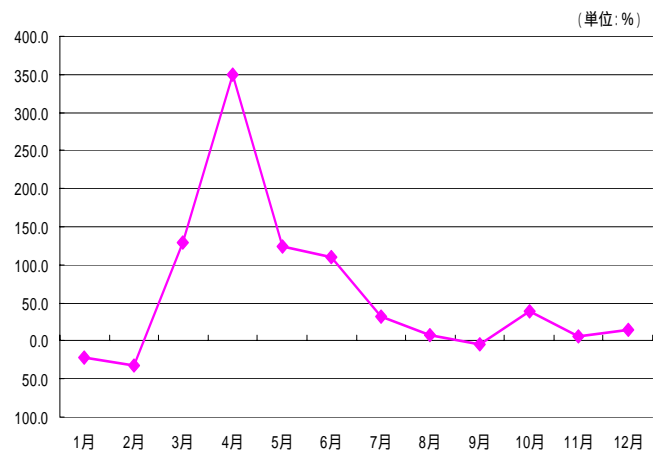
(1) 概況

平成24年の観光客の動向を月別で比較すると、冬の一大イベント「長崎ランタンフェスティバル」が、悪天候の影響により減少したものの、3月、4月において、国内外の観光客ともに前年の東日本大震災の影響による減少から反動がみられ、増加に転じた。5月の大型連休期間は、天候に恵まれ「長崎帆船祭り」のイベントなどを中心に、引き続き好調を維持したが、6月以降は、前年の修学旅行の振替による宿泊客数の増加から反動が見られた。10月は佐世保市、島原市において「全国和牛能力共進会長崎県大会」が開催されたことに加え、長崎市の夜景が「世界新三大夜景」に認定され、「夜景観光」を中心とした観光客が増加したこと、ハウステンボスにおいて、1000万球のイルミネーション「光の王国」や、年末のカウントダウンイベントが奏功し、12月単月で過去最多の入場者数を記録したことなど、県内に「光と灯り」をテーマにした誘客効果が広がり、前年を大きく上回った。

[参考1] 月別宿泊客数増減率の推移



[参考2] 月別外国人宿泊客数増減率の推移



参考：長崎県観光動向調査の宿泊施設サンプル調査集約結果による分析

日帰り客数は、東日本大震災後の自粛ムードが緩和されたことや、全国和牛能力共進会長崎県大会の開催などによって、対前年4.4%増(+809千人)となった。

宿泊客延べ滞在数は、世界新三大夜景に認定された長崎市の夜景や、ハウステンボスの「光の王国」をはじめ、宿泊に結びつく誘客が奏功したことや、対馬を訪れる韓国人の大幅増などにより対前年4.0%増(+390千人)となった。

[表2] 日帰り客・宿泊客延滞在数比較

	(単位:人)			
	H22	H23	H24	対前年増減
日 帰 り 客 数	19,125,493	18,365,267	19,174,752	809,485
宿 泊 客 延 べ 滞 在 数	9,975,420	9,832,859	10,223,036	390,177
外国人宿泊客延滞在数	721,348	502,245	664,529	162,284
日本人宿泊客延滞在数	9,254,072	9,330,614	9,558,507	227,893

(2) 観光客の推移

平成20年はリーマンショックに端を発する世界的な経済情勢の悪化に加え、円高や新型インフルエンザにより外国人観光客が減少したものの、平成21年は高速道路の料金割引効果がみられたこと、平成22年は大河ドラマ「龍馬伝」の放送や、ハウステンボスのリニューアルが追い風となったことなどから、観光客の増加がみられた。

平成23年は東日本大震災の影響により減少に転じたが、平成24年は、震災の影響からの回復に加え、「光と灯り」をテーマにした誘客が奏功したことや、全国和牛能力共進会長崎県大会が開催されたこと、対馬を訪れる韓国人を中心に外国人観光客の増加がみられたことなどにより、過去10年間で最も高い伸び率となった。

[表3]観光客延べ数の推移

(単位：%)

年	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
前年比	2.4	4.4	2.4	0.0	1.7	1.4	0.9	2.7	3.7	4.3

[表4]過去3年間の観光客数(詳細)

(単位：人、%、泊)

	H22	構成比	H23	構成比	H24	構成比	増減	対前年
観光客延べ数	29,100,913	100.0	28,198,126	100.0	29,397,788	100.0	1,199,662	4.3
日帰り客数	19,125,493	65.7	18,365,267	65.1	19,174,752	65.2	809,485	4.4
宿泊客延滞在数	9,975,420	34.3	9,832,859	34.9	10,223,036	34.8	390,177	4.0
延宿泊数	5,714,250		5,611,996		5,865,002		253,006	4.5
宿泊客実数	4,261,170		4,220,863		4,358,034		137,171	3.2
平均宿泊数	1.34		1.33		1.35		-	-
観光客実数	23,386,663		22,586,130		23,532,786		946,656	4.2

(注)平成23年は再算定後の数値である。

(3) 地域ブロック別動向

長崎・西彼ブロック(615万人、対前年+0.2% +14千人)

長崎市：東日本大震災による修学旅行の西日本シフトからの反動減や、積雪による路面の凍結でランタンフェスティバルの集客減があったものの、帆船祭りの集客が大幅に増加したことや、長崎市の夜景が世界新三大夜景に認定されたこと、クルーズ客船の入港が過去最高になったことなどから観光客延べ数は対前年0.1%増(+8千人)となった。

佐世保・西海・東彼・北松ブロック(879万人、対前年+8.8% +708千人)

佐世保市：ハウステンボスにおいて、史上最多となる1000万球のイルミネーション「光の王国」の集客が増加したこと、全国和牛能力共進会長崎県大会や、「YOSAKOIさせばまつり」等のイベントが奏功したことなどから、観光客延べ数は対前年12.9%増(+734千人)となった。

西海市：主要な宿泊施設が建て替えのために休業したことや、一部観光施設の利用者数が減少したことなどから、観光客延べ数は対前年7.8%減(-78千人)となった。

平戸・松浦ブロック(267万人、対前年+5.1% +130千人)

平戸市：平成23年9月にオープンした平戸オランダ商館の利用者数が増加したことに加え、映画「あなたへ」の公開効果で日帰り客が増加したこと、大手進学塾の勉強合宿の誘致に成功したこと、修学旅行宿泊客数が増加したことなどから、観光客延べ数は対前年3.8%増(+72千人)となった。

松浦市：鷹島町神崎沖での遺跡の発見により、鷹島町の道の駅や歴史民族資料館を訪れる日帰り観光客が増加したことや、民泊を中心とした修学旅行宿泊客数が増加したことなどから、観光客延べ数は対前年8.8%増(+58千人)となった。

諫早・大村ブロック(334万人、対前年0.0% +1千人)

諫早市：一部観光施設の閉鎖に加え、雨天の影響により諫早のんのご祭りの集客が減少したことなどから、観光客延べ数は対前年2.0%減(-47千人)となった。

大村市：東日本大震災の影響からの回復により、大村公園などで日帰り客数が増加したことや、市制70周年を記念した「ご当地自慢グルメフェア」を開催したこと、ビジネス客を中心に宿泊客数が増加したことなどから、観光客延べ数は対前年4.7%増(+48千人)となった。

島原半島ブロック（639万人、対前年+2.0% +128千人）

島原市：宿泊施設の建て替えによる一時休業の影響により宿泊客数が減少したものの、全国和牛能力共進会長崎県大会やジオパーク国際ユネスコ会議による集客があったことなどから、観光客延べ数は対前年1.9%増(+28千人)となった。

雲仙市：小浜温泉足湯「ほっとふっと105」の集客増や、雲仙普賢岳の新登山道開通により日帰り客の増加がみられたことに加え、雲仙灯りの花ぼうろの集客増などから、観光客延べ数は対前年0.2%増(+8千人)となった。

南島原市：道の駅「みずなし本陣ふかえ」の集客増や、農林漁業体験民泊の受け入れが増加したことなどから、観光客延べ数は対前年6.8%増(+92千人)となった。

五島ブロック（65万人、対前年+0.6% +4千人）

五島市：台風の上陸回数が前年の2.5倍となるなど、悪天候の影響による夏期の観光客減少に加え、修学旅行宿泊客の減少や、クルーズ船入港回数の減少などから、観光客延べ数は対前年7.2%減(-29千人)となった。

新上五島町：新規の宿泊施設がオープンしたことに加え、修学旅行宿泊客や学生団体の受け入れが増加したことから、観光客延べ数は対前年14.4%増(+29千人)となった。

壱岐ブロック（55万人、対前年+0.9% +5千人）

壱岐市：主要宿泊施設が休業していたことにより、宿泊客数の減少がみられたものの、壱岐博多間フェリーの新船就航に伴う運賃の値下げにより、ツアー客が増加したことなどから、観光客延べ数は対前年0.9%増(+5千人)と増加した。

対馬ブロック（87万人、対前年+32.1% +210千人）

対馬市：東日本大震災の影響による減少から回復がみられたことに加え、対馬釜山間航路の増便により、韓国人観光客が日帰り客、宿泊客ともに増加したことから、観光客延べ数は前年比32.1%増(+210千人)と大幅に増加した。

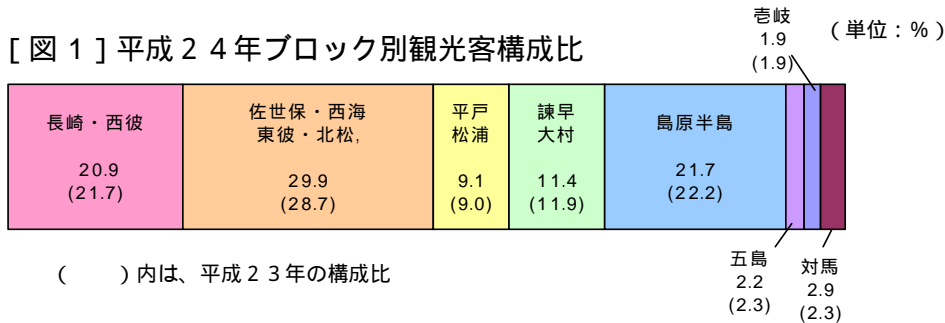
[表5] 地域ブロック別観光客数（観光客延べ数）

（単位：人、泊、%）

	観光客延べ数					平均観光客延泊数	H23	H24-H23比較	
	日帰り客数	宿泊客延滞在数	延泊数	宿泊客実数	観光客延泊数		観光客延数	増	減
県計	19,174,752	10,223,036	5,865,002	4,358,034	1.35	29,397,788	28,198,126	1,199,662	4.3
長崎・西彼	3,514,574	2,630,607	1,525,204	1,105,403	1.38	6,145,181	6,131,210	13,971	0.2
佐世保・西海 東彼・北松	5,894,990	2,891,746	1,600,468	1,291,278	1.24	8,786,736	8,078,826	707,910	8.8
平戸・松浦	1,928,870	738,468	444,991	293,477	1.52	2,667,338	2,537,535	129,803	5.1
諫早・大村	2,470,164	872,725	464,146	408,579	1.14	3,342,889	3,342,058	831	0.0
島原半島	4,867,361	1,519,464	822,385	697,079	1.18	6,386,825	6,258,832	127,993	2.0
五島	204,345	446,210	270,590	175,620	1.54	650,555	646,582	3,973	0.6
壱岐	71,536	480,859	318,407	162,452	1.96	552,395	547,468	4,927	0.9
対馬	222,912	642,957	418,811	224,146	1.87	865,869	655,615	210,254	32.1

図 1 によりブロック別構成比を見てみると、最も構成比が高かったのは、「佐世保・西海・東彼・北松ブロック」で、29.9%であった。

構成比の減少幅が最も大きかったのは、長崎・西彼ブロックで、前年比0.8ポイント減の20.9%となった。



(4) 外国人観光客の動向

対馬 釜山間航路増便により対馬を訪れる韓国人が増加したことや、クルーズ船が入港隻数、乗船者数とともに過去最高を記録したことなどから、日帰り客数が対前年227.1%増(+80千人)、宿泊客数が対前年32.3%増(+162千人)と、ともに増加し、観光客延べ数は対前年45.1%増(+243千人)となった。

国・地域別に見ると、観光客延べ数が多い順に韓国、台湾、中国、米国、香港の順となっており、外国人の約半数を占める韓国については、対前年41.0%増(+103千人)となった。

[表 6] 外国人観光客数

(単位：人、%)

地 域	国・地域	H23			H24			H24-H23比較	
		日帰り客数	宿 泊 客 延 滞 在 数	観 光 客 延 数	日帰り客数	宿 泊 客 延 滞 在 数	観 光 客 延 数	宿 泊 客 延 滞 在 数 対 前 年 比 (%)	観 光 客 延 数 対 前 年 比 (%)
ア ジ ア	中 国	17,496	400,977	418,473	82,407	555,966	638,373	38.7	52.5
	台 湾	4,834	21,865	26,699	30,777	36,002	66,779	64.7	150.1
	香 港	-	95,918	95,918	-	168,010	168,010	75.2	75.2
	韓 国	-	20,204	20,204	-	14,082	14,082	30.3	30.3
	韓 国	11,405	240,381	251,786	47,730	307,178	354,908	27.8	41.0
	シンガポール	-	6,196	6,196	-	7,373	7,373	19.0	19.0
	タ イ	-	4,267	4,267	-	9,359	9,359	119.3	119.3
	そ の 他	1,257	12,146	13,403	3,900	13,962	17,862	15.0	33.3
ヨ ー ロ ッ パ		4,449	20,730	25,179	8,248	23,869	32,117	15.1	27.6
北 ア メ リ カ		7,306	50,897	58,203	11,511	46,917	58,428	7.8	0.4
	ア メ リ カ	4,914	47,317	52,231	8,241	44,966	53,207	5.0	1.9
南 ア メ リ カ		569	2,296	2,865	1,692	1,980	3,672	13.8	28.2
オ セ ア ニ ア		5,053	4,377	9,430	10,993	4,839	15,832	10.6	67.9
その他の国・地域		542	764	1,306	998	3,057	4,055	300.1	210.5
国 籍 不 明		-	22,204	22,204	-	27,901	27,901	25.7	25.7
合 計		35,415	502,245	537,660	115,849	664,529	780,378	32.3	45.1

注 1) 日帰り客数は、対馬の韓国人日帰り観光客数と、クルーズ船の乗船者数の合計

注 2) 観光客延べ数は、日帰り客数と宿泊客延べ滞在数の合計

[表 7] 国際観光船入港実績 (長崎港) 推移

(単位：隻、人)

	H 1 9	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
入 港 隻 数	41	27	48	44	19	72
乗 船 者 数	45,975	21,403	60,381	76,798	37,147	120,241

乗船者数は乗組員を含む

(5) 修学旅行宿泊客の動向

[表 8] 市町別修学旅行宿泊客数

(単位 : 人、 %)

前年の東日本大震災発生に伴う修学旅行の西日本シフトからの反動により、対前年 8 . 0 % 減の 4 4 4 千人となったものの、一部市町において、誘致活動や、民泊の受け入れが奏功したことなどにより、平成 2 2 年と比較すると 2 . 4 % 増となった。

		平成22年	平成23年	平成24年	前年比
県	計	433,710	482,852	444,117	8.0
長	崎 市	293,100	327,800	290,500	11.4
佐	世 保 市	51,221	66,181	59,103	10.7
島	原 市	8,230	5,219	7,140	36.8
雲	仙 市	32,834	33,114	29,759	10.1
南	島 原 市	0	246	2,915	1085.0
諫	早 市	4,696	6,122	4,494	26.6
大	村 市	551	680	291	57.2
平	戸 市	14,716	11,846	13,967	17.9
松	浦 市	14,232	19,323	23,712	22.7
五	島 市	1,599	1,652	848	48.7
新	上 五 島 町	526	309	1,294	318.8
彦	岐 市	8,200	7,900	6,262	20.7
対	馬 市	0	0	80	皆増
川	棚 町	2,117	1,909	1,873	1.9
小	値 賀 町	1,688	551	1,879	241.0

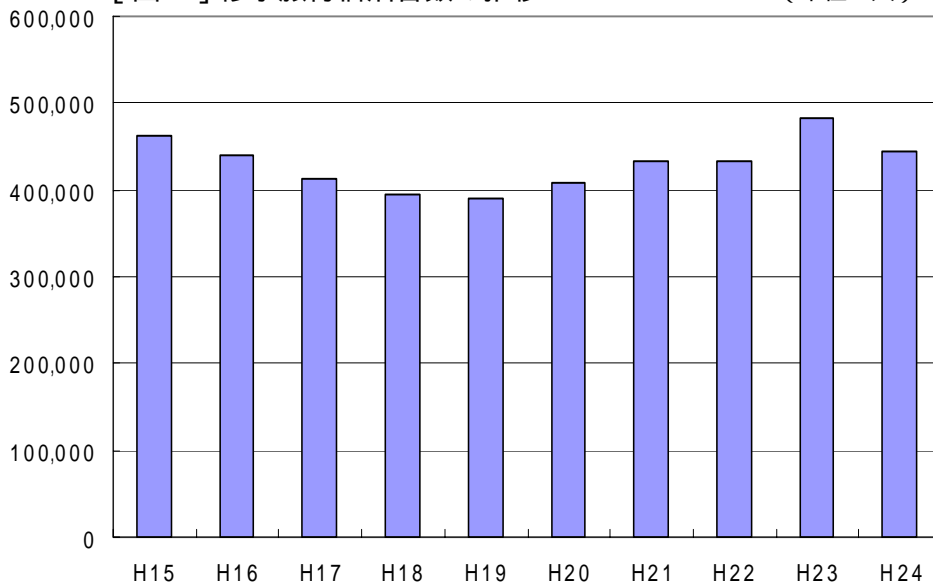
注 1) 市町調査 (聞き取り) による数値

長崎市については、市発表の団体客 (学生客) の数であるため、日帰り客を含む

注 2) 実績がある市町のみ掲載している。

[図 2] 修学旅行宿泊客数の推移

(単位 : 人)



3. 長崎県の観光消費額の動向

平成24年の観光消費額

観光消費額 2,869億円（対前年6.6%増）

平成24年1月から12月まで

1人1日当たりの平均消費額
 日帰り客 7,173円（対前年1.9%増）
 宿泊客 21,141円（対前年2.3%増）

全国和牛能力共進会長崎県大会などの大型イベントによる日帰り客の増加や、「光と灯り」をテーマにした誘客効果による宿泊客の増加に加え、日帰り客、宿泊客ともに平均単価が増加したため、観光消費額総額は対前年6.6%増（+177億円）の2,869億円となり、過去10年で最高の伸びとなった。

[表9]平成24年観光消費額（日帰り・宿泊別）

（単位：百万円、円、%）

	H23	H24	増減	対前年比
観光消費額	269,214	286,893	17,680	6.6
日帰り客	129,327	137,541	8,214	6.4
宿泊客	139,887	149,352	9,466	6.8
平均単価（円）＜一人一日あたりの平均消費額＞				
日帰り客	7,042	7,173	131	1.9
宿泊客	20,663	21,141	478	2.3

（注）平成23年は再算定後の数値である。

【表10】観光消費額の推移

（単位：%）

年	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
対前年比	3.5	5.7	0.1	2.2	2.3	1.5	6.9	2.6	1.3	6.6

(参考資料)平成24年市町別観光客数

(単位:人、%)

区分 市町村	観光客延数										観光客実数					
	日帰り客数	宿泊客延滞在数	延宿泊数	宿泊客実数	平均宿泊数	観光客延数	23年延数	前年比	増減	地元客	県内客	県外客	観光客実数	23年実数	前年比	
県計	19,174,752	10,223,036	5,865,002	4,358,034	1.35	29,397,788	28,198,126	4.3	1,199,662	3,702,562	6,346,928	13,483,296	23,532,786	22,586,130	4.2	
長崎・西彼	3,514,574	2,630,607	1,525,204	1,105,403	1.38	6,145,181	6,131,210	0.2	13,971	364,449	352,966	3,902,562	4,619,977	4,667,974	1.0	
佐世保・西海・東彼・北松	5,894,990	2,891,746	1,600,468	1,291,278	1.24	8,786,736	8,078,826	8.8	707,910	1,269,640	1,713,296	4,203,332	7,186,268	6,523,938	10.2	
平戸・松浦	1,928,870	738,468	444,991	293,477	1.52	2,667,338	2,537,535	5.1	129,803	171,643	787,213	1,263,491	2,222,347	2,127,104	4.5	
諫早・大村	2,470,164	872,725	464,146	408,579	1.14	3,342,889	3,342,058	0.0	831	1,154,481	1,351,298	372,964	2,878,743	2,881,969	0.1	
島原半島	4,867,361	1,519,464	822,385	697,079	1.18	6,386,825	6,258,832	2.0	127,993	603,585	1,963,764	2,997,091	5,564,440	5,439,850	2.3	
五島	204,345	446,210	270,590	175,620	1.54	650,555	646,582	0.6	3,973	64,259	115,853	199,853	379,965	393,836	3.5	
壱岐	71,536	480,859	318,407	162,452	1.96	552,395	547,468	0.9	4,927	26,269	12,385	195,334	233,988	226,397	3.4	
対馬	222,912	642,957	418,811	224,146	1.87	865,869	655,615	32.1	210,254	48,236	50,153	348,669	447,058	325,062	37.5	
長崎市	3,366,100	2,586,800	1,499,900	1,086,900	1.38	5,952,900	5,944,700	0.1	8,200	271,700	302,800	3,878,500	4,453,000	4,505,600	1.2	
長与町	65,968	0	0	0	-	65,968	60,015	9.9	5,953	30,442	21,532	13,994	65,968	60,015	9.9	
時津町	82,506	43,807	25,304	18,503	1.37	126,313	126,495	0.1	182	62,307	28,634	10,068	101,009	102,359	1.3	
佐世保市	3,775,200	2,665,740	1,454,040	1,211,700	1.20	6,440,940	5,707,362	12.9	733,578	879,900	832,000	3,275,000	4,986,900	4,305,900	15.8	
西海市	837,911	84,399	53,043	31,356	1.69	922,310	1,000,524	7.8	78,214	80,406	304,483	484,378	869,267	935,566	7.1	
東彼杵町	15,446	5,296	2,648	2,648	1.00	20,742	23,460	11.6	2,718	1,447	13,209	3,438	18,094	20,811	13.1	
川棚町	307,426	132,313	88,708	43,605	2.03	439,739	429,494	2.4	10,245	38,262	202,545	110,224	351,031	345,010	1.7	
波佐見町	790,007	3,898	1,974	1,924	1.03	793,905	771,196	2.9	22,709	154,625	313,529	323,777	791,931	769,911	2.9	
佐々町	169,000	100	55	45	1.22	169,100	146,790	15.2	22,310	115,000	47,530	6,515	169,045	146,740	15.2	
平戸市	1,324,491	627,121	376,273	250,848	1.50	1,951,612	1,879,784	3.8	71,828	63,044	647,913	864,382	1,575,339	1,537,433	2.5	
松浦市	604,379	111,347	68,718	42,629	1.61	715,726	657,751	8.8	57,975	108,599	139,300	399,109	647,008	589,671	9.7	
諫早市	1,595,445	688,766	367,187	321,579	1.14	2,284,211	2,331,197	2.0	46,986	621,691	1,086,760	208,573	1,917,024	1,963,274	2.4	
大村市	874,719	183,959	96,959	87,000	1.11	1,058,678	1,010,861	4.7	47,817	532,790	264,538	164,391	961,719	918,695	4.7	
島原市	1,197,683	285,970	186,133	99,837	1.86	1,483,653	1,455,658	1.9	27,995	57,177	169,132	1,071,211	1,297,520	1,267,715	2.4	
雲仙市	2,338,912	1,122,440	579,034	543,406	1.07	3,461,352	3,453,120	0.2	8,232	229,623	1,255,731	1,396,964	2,882,318	2,872,021	0.4	
南島原市	1,330,766	111,054	57,218	53,836	1.06	1,441,820	1,350,054	6.8	91,766	316,785	538,901	528,916	1,384,602	1,300,114	6.5	
五島市	123,948	253,245	147,250	105,995	1.39	377,193	406,514	7.2	29,321	34,519	67,836	127,588	229,943	251,233	8.5	
新上五島町	72,159	156,850	100,775	56,075	1.80	229,009	200,101	14.4	28,908	27,755	40,096	60,383	128,234	121,247	5.8	
小値賀町	8,238	36,115	22,565	13,550	1.67	44,353	39,967	11.0	4,386	1,985	7,921	11,882	21,788	21,356	2.0	
壱岐市	71,536	480,859	318,407	162,452	1.96	552,395	547,468	0.9	4,927	26,269	12,385	195,334	233,988	226,397	3.4	
対馬市	222,912	642,957	418,811	224,146	1.87	865,869	655,615	32.1	210,254	48,236	50,153	348,669	447,058	325,062	37.5	